

人とヒグマの軋轢（人身・経済被害、危険事例、遊歩道閉鎖等）
の発生状況（速報）

<人身被害>

2018年度は斜里町、羅臼町、標津町において人身被害なし。

<危険事例>

斜里町

2018（平成30）年度は9月末時点で危険事例が36件発生した。

人が関連する食品（釣り人が放置した荷物や釣り上げた魚など）や不法投棄ゴミなどにヒグマが餌付いてしまう事例、住宅地にヒグマが侵入する事例、ヒグマが車両に接近または接触する事例、ヒグマが登山道に滞留し登山者と近距離で接近する事例などであった。詳細は以下の通り。

2018（平成30）年度

No.	日付・場所	ゾーン	行動段階	状況概要
1	4月30日 道道岩尾別	特	1	0歳1頭連れの母グマが車輛に向かってきたとの通報あり、現地で追い払いを実施。
2	5月6日 ウトロ西	4	1	住宅地付近の山林にてヒグマが出没したため、追い払いを実施。
3	5月8日 道道幌別	特	1+	0歳1頭連れの母グマが車に接近するような素振りを見せたため、クラクションで追い払う。
4	5月9日 ウトロ西	2	1	住宅地付近の山林にてヒグマが出没したため、追い払いを実施。
5	5月9日 国道幌別	特	—	見晴橋付近にて、夕陽鑑賞後の観光客男性が歩道上で単独ヒグマに進路をふさがれる。
6	5月13日 道道幌別	特	1	0歳1頭連れ親子が目撃され、母グマが車輛に近付く。
7	5月15日 ウトロ香川	4	1	住宅地付近でヒグマが出没。麻酔銃で緊急捕獲後、国立公園内で放獣。
8	5月20日 ウトロ中島	4	—	住宅地付近の道路上でヒグマの目撃情報。
9	5月25日 ウトロ西	2	1	住宅地付近の山林にてヒグマの目撃情報。
10	5月26日 ウトロ西	4	1	住宅地付近の山林にてヒグマが出没したため、追い払いを実施。

11	5月27日 岩尾別	特	2	0歳1頭連れの母グマが物置に放置された生ゴミを食べる。これをきっかけに母グマは捕殺対象となる。
12	6月4日 ウトロ西	2	1	住宅地付近の山林にてヒグマの目撃情報。
13	6月9日 町道岩尾別	特	1+	0歳1頭連れ親子が目撃され、カメラマン車輛10台弱が停車し渋滞が発生する。
14	6月12日 道道幌別	特	1	0歳1頭連れ親子を目撃し、追い払い中に母グマがブラフチャージをする。
15	6月13日 ウトロ西	4	1	住宅地付近の山林にてヒグマの目撃情報。
16	6月16日 道道幌別	特	—	0歳1頭連れ親子が出没し渋滞が発生。マナーの悪いカメラマンがクマスプレーとカメラを構えヒグマを追いかけまわす様子が目撃される。
17	6月16日 ウトロ西	2	—	オシンコシンの滝駐車場山側にてヒグマの目撃情報。
18	6月25日 知床横断道 路	特	—	1歳2頭連れの母グマが環境省ARにブラフチャージする。
19	6月30日 岩尾別	特	1+	生ゴミの保管に使用している物置を気にし、周りをしつこく徘徊する単独ヒグマが目撃される。
20	7月10日 町道岩尾別	特	1	0歳1頭連れ親子に3mほどまで接近し撮影を行うカメラマンが目撃される。
21	7月15日 道道幌別	特	1+	0歳1頭連れ親子が目撃され、見物車両による渋滞が発生。追い払い中に母グマがブラフチャージをする。
22	8月9日 ウトロ西	2	—	住宅地付近の海岸にてヒグマの目撃情報。
23	8月26日 三段の滝河 口	2	—	釣り人がヒグマに3mまで接近され、その後も追いかけられた。
24	8月30日 幌別森林	2	—	森林を散策中にヒグマと至近距離で遭遇し、ブラフチャージされる。
25	8月31日 フンベ川河 口	2	2	ヒグマが釣り人に走って接近し、逃げた釣り人が放置した魚を持ち去る。
26	9月3日 町道岩尾別	特	1	親子ヒグマが目撃され、カメラマン9名が車外でヒグマの撮影をしていた。ヒグマの追い払いを実施。

27	9月5日 遠音別川	2	1	サケマス観覧場にヒグマが出没したため、追い払いを実施。
28	9月8日 五湖ゲート 付近	特	—	停車中の有人車両にヒグマが2~3mにまで接近したという目撃情報。
29	9月10日 遠音別川河 口	2	—	釣り人に近距離まで接近するヒグマの目撃情報。
30	9月12日 ウトロ西	2	—	オシンコシン崎海岸で釣りをしている男性がヒグマに背後から接近され、警察に助けを求める。
31	9月15日 道道岩尾別	特	—	観光客が降車してヒグマに接近しているという目撃情報。
32	9月16日 町道岩尾別	特	1	ヒグマを目撃した人々が降車してヒグマに接近し、撮影。
33	9月21日 町道岩尾別	特	—	ヒグマがランナーに向かって走り寄ってきたという目撃情報。
34	9月22日 知床横断道 路	特	—	停車中の有人車両にヒグマが2~3mにまで接近したという目撃情報。
35	9月26日 登山道	2	—	登山者にヒグマが5mにまで走り寄ってきたという目撃情報。
36	9月30日 オシンコシ ン崎海岸	2	—	海岸で釣りをしている男性がヒグマに5mにまで接近されたという投稿あり。

羅臼町

2018（平成 30）年度は 10 月末時点で危険事例が 21 件発生した。ペットとして飼育されていたヤギが食害された事例、飼い犬 2 頭が食害された事例、水産加工場の加工残渣に執着した事例、番屋の干し魚が奪われ、さらに窓ガラスを破壊された事例などがあった。詳細は以下の通り。

2018（平成 30）年度

日付・場所	ゾーン	行動 段階	状況
①6月20日 海岸町	4	2	民家裏の魚干し小屋がヒグマによって破壊された。小屋にはまだ魚は干されており、人の鼻では魚の匂いは感じられなかった。
②6月27～ 29日 滝ノ下	2	2	漁業番屋の生活排水にヒグマが執着。漁業者が爆竹等で何度も追い払いを行ったが、行動改善しなかったとのこと。人為物に執着し、人を気にしていない行動から有害捕獲となった。
③7月14日 岬町	4	2	住宅地の山側斜面で、広範囲に渡ってヒグマ痕跡を確認。海岸側で、ヒグマによって食べられたと推測される新巻鮭を発見した。
④7月18日 滝ノ下	2	2	漁業番屋の生活排水にヒグマが執着。当該個体は漁業者にブラフチャージを行った。捕獲体制で向かったが、当該個体は出沒せず捕獲には至らなかった。
⑤7月23日 峯浜町	3	2	ペットとして飼育されていたヤギ 1 頭がヒグマによって食害された。加害個体は捕獲対象と判断されたが、10 月末時点で捕獲には至っていない。なお DNA 鑑定により、加害個体は特定されている（ID：18RS11 オス）
⑥8月1日 海岸町	4	2	飼い犬 2 頭がヒグマによって食害された。加害個体は捕獲対象と判断されたが、10 月末時点で捕獲には至っていない。なお DNA 鑑定により、加害個体は特定されている（ID：RT オス）
⑦8月3日 春日町	4	2	サケマスふ化場で、稚魚用の飼料がヒグマによって食害される被害が発生。飼料は屋内にあったが、ヒグマは施錠されていない扉から侵入したもよう。数日後には電気柵が設置され、被害は 1 回のみであった。
⑧8月6日 滝ノ下	2	2	定置漁業番屋のトイレが破壊された。2016、2017 年にも同様の被害があり、2017 年には 1 頭のヒグマを有害捕獲している。今年度はすでに漁業活動は終了しており、番屋も無人であるため対応は行わなかった。なお来年度以降、漁業者自身で番屋周辺に電気柵を設置することとなった。
⑨8月16日 礼文町	4	2	夜間、軒先に干してあった魚がヒグマに奪われた。
⑩8月16日 礼文町	4	2	住宅街で、19 時過ぎに生ごみを入れているゴミ箱がヒグマによって破壊される被害が発生した。当該個体の発見には至らず、追い払いはできなかった。

⑪8月16日 礼文町	4	3	住宅街に21時過ぎにヒグマが出没。ヒグマは走行中の車両に向かってブラフチャージを行い、車両と接触。車両は、助手席側のドアが大きくへこんでいた。夜間であったため、追い払いを実施した。
⑫8月12～ 18日 知昭町	4	2	水産加工場の排水溝がヒグマによって荒らされていた。被害発覚は17日朝。加工場は12～16日の間は無人であったため、正確な被害日は不明。18日にも同様の被害が確認された。なお、加害個体は8月22日に麻布町で有害捕獲されている。
⑬8月17日 麻布町	4	2	運輸会社のトラックが壊されているのが発見され、痕跡からヒグマによる被害と断定された。トラックは水産加工残渣の運搬にも使用されていたため、匂いに誘引されたものと推測された。12～16日の間は無人であったため、正確な被害日は不明。なおDNA鑑定により、加害個体は特定されている（ID：18RS13 オス）
⑭8月20日 岬町モセカ ルベツ	4	2	水産加工場でヒグマの足跡と思われる痕跡が発見された。足跡はヒグマのものではなかったが、シャッターがヒグマによって破壊されていたことが発覚した。被害が確認されたのは17日。12～16日の間は無人であったため、正確な被害日は不明。
⑮8月18～ 22日 麻布町	4	2	水産加工場の加工残渣にヒグマが執着する事例が発生。被害者からの通報が遅かったため、対応が遅れ連日の被害となった。当該個体が同加工場に出没したところを有害捕獲した。
⑯8月28～ 30日 幌萌町	3	2	清掃センター敷地内に置かれている冷蔵庫から、ヒグマによってエゾシカの死体が捕られた。28日の被害発覚後、捕獲檻を設置したが加害個体の捕獲には至らなかった。30日の被害発覚後、電気柵を設置したところそれ以上の被害は発生しなかった。
⑰9月2日 クズレハマ 川河口	2	2	釣り人の釣った魚がヒグマに奪われた。注意看板を設置した。
⑱9月3日 昆布浜	特定	2	釣り人の釣った魚がヒグマに奪われた。加害個体はその後、漁業者が作業中の海岸を人目を気にすることなく移動していたため、有害捕獲となった。
⑲9月21日 峯浜町	3	2	酪農家が沢に投棄していた廃棄乳にヒグマが執着。捕獲対象と判断されたが、10月末時点で捕獲には至っていない。なお、複数個体が関与している疑いがあり、うち1個体はDNA鑑定により特定されている（ID：16RH08 オス）
⑳11月1～3 日 岬町モセカ ルベツ	4	2	夜間、番屋の軒先に干してあった魚がヒグマに奪われ、番屋の窓ガラスが破壊される被害が発生。捕獲檻によって、加害個体と推測されるヒグマを有害捕獲した。
㉑11月2日 岬町	4	2	日中、住宅街を海岸沿いに移動するヒグマが目撃された。当該個体は、海岸で干し魚を食害している最中に有害捕獲された。

標津町

2018（平成30）年度は10月末時点で危険事例が6件発生した。昨年に引き続き金山地区国道沿いに居着く親子や忠類地区の市街地に出没した事例があった。

2018（平成30）年度

日付・場所	ゾーン	行動段階	状況
①6月16日から順次金山地区	2	2	昨年に引き続き、4月21日以降親子連れがたびたび目撃されていた。6月16日に目撃された親子連れ（仔2頭）は、P帯にあった供え物（ビール2缶、コーヒー1缶）を捕食。駆除対象ではあるが、未だ捕獲できず。
②7月9日 薫別地区	3	1	海岸に漂着した海獣死骸にクマがつき、山側に死骸を引きずった跡を確認。周辺は釣り人やキャンプ客が訪れる場所のため、看板を設置するとともにパトロールを実施。2個体が、誘引されていたが、後日ヒグマが死骸をさらに山中へ引きずって行ったためヒグマの痕跡は消えた。
③7月30日 古多糠地区	3	1	牧場主が牧場入口でヒグマ親子連れと遭遇。ヒグマは人を気にせず向かってきたため、トラクターで追払った。
④8月22日 金山地区	3	2	金山親子連れが出没。付近にコーヒーの空き缶が大量に放置され、誘引された形跡を確認。
⑤8月28日 忠類地区	3	1+	忠類パークゴルフ場から市街地にかけてヒグマが横断。緊急駆除を実施。
⑥10月10日 北標津地区	3	2	デントコーン畑において収穫作業に伴う駆除対応を実施。1頭の痕跡を確認したが、捕獲に至らず。

<農業被害>

- ・斜里町における今年度の農作物被害は、未集計。全体にヒグマの被害は少ない印象であり、電気柵の導入を行っている農地（ウトロ高原等）では被害が軽減している。ハンターによる農地のパトロール時間は平年並み。
- ・羅臼町については農業被害なし。
- ・標津町については、デントコーンの作付けが増加している影響で、デントコーンの被害は増加している。ヒグマによる被害金額や面積の集計は行われていない。

<遊歩道閉鎖状況>

- ・ヒグマの出没により閉鎖対応しているのは知床五湖地上遊歩道とフレペの滝遊歩道。
- ・羅臼湖や知床連山登山道は基本的に閉鎖対応なし。

【知床五湖】 *2018年9月末までの状況

- ・地上歩道におけるヒグマ遭遇回数は128回（図1）。
- ・ヒグマ活動期のツアー中止回数は25回（図2）。
- ・植生保護期の緊急閉鎖回数（荒天原因含む）は10回（図2）。

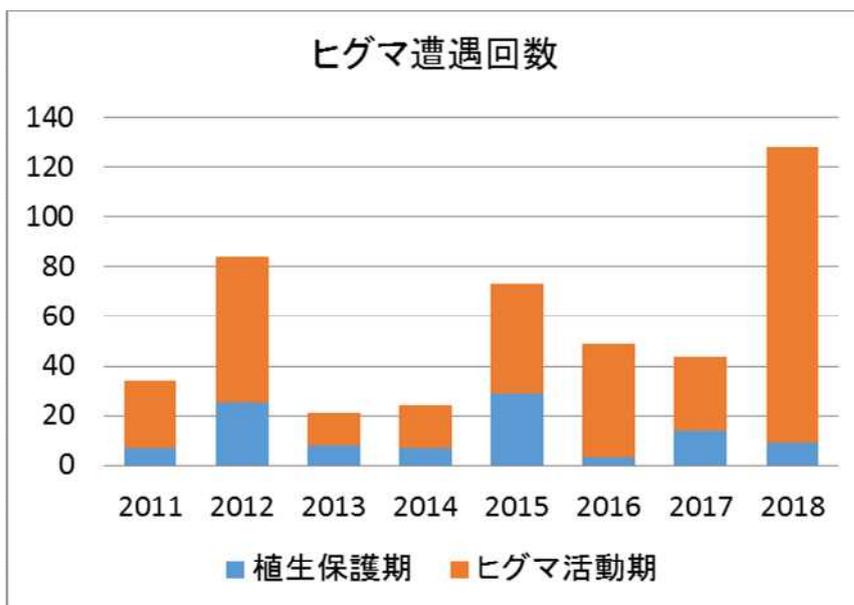


図1. 知床五湖地上歩道におけるヒグマ遭遇回数（※2018年は9月末までの値）

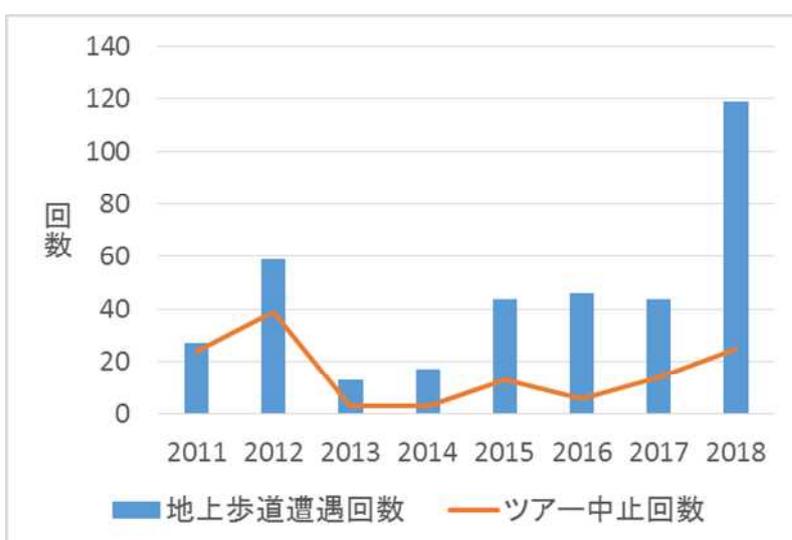


図2. 知床五湖地上歩道の緊急閉鎖日数とツアー中止回数

【フレペの滝遊歩道】

- ・2018年（平成30年）9月末までの閉鎖回数は46回（表1）。

表1. 2018年（平成30年）9月末までのフレペの滝遊歩道閉鎖状況（ヒグマによる閉鎖）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1日						
2日						44回目
3日		7回目				
4日					40回目	
5日		8回目		27回目		
6日			15回目			
7日						
8日	1回目					
9日			16回目		41回目	
10日	2回目		17回目	28回目		
11日		9回目	18回目	29回目		
12日	3回目			30回目		
13日	4回目					
14日	5回目		19回目			
15日			20回目	31、32回目		
16日						45回目
17日						
18日			21回目	33、34回目		
19日						
20日		10回目		35回目		
21日		11回目	22回目			46回目
22日				36回目		
23日			23回目			
24日	6回目			37回目		
25日					42回目	
26日		12回目				
27日						
28日			24回目			
29日		13回目			43回目	
30日		14回目	25、26回目	38回目		
31日				39回目		

【知床連山登山道】

- ・昨年在最多の目撃件数となり、今年は減少したが例年と比較して目撃が多かった（表2）。
- ・2016年から林野庁が各登山口にヒグマ目撃情報収集のためのアンケート用紙と回収ボックスを設置。以降、ヒグマ目撃情報の収集が強化されている。
- ・登山者自身の判断でヒグマとの遭遇回避や退避等の対策がなされた例がほとんどである。
- ・登山口における注意喚起の看板設置や、クマスプレーのレンタル等の対策を実施。

表2. 登山道におけるヒグマ目撃件数

	羅臼岳 (岩尾別コース)	硫黄山	縦走路	羅臼岳 (羅臼温泉コース)	計
2012年	42	9	4	9	64
2013年	17	0	0	2	19
2014年	6	4	0	2	12
2015年	24	5	6	15	50
2016年	17	6	6	3	32
2017年	81	19	17	16	133
2018年	35	14	4	9	62